

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1023号
2007年2月11日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◇2月の代禱・信施奉献先
▽ぶどうのいえのため▽ハンセン病問題啓発の日(11日)▽浦安集会・浦安宣教のため▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため▽東京教区神学生のため(25日)

▽聖路加国際病院礼拝堂オルガンリサイタル 2月22日(木) 19時 林佑子(主任オルガニスト)・04年以来となる演奏会・入場無料(会場献金)
▽恒例ランチタイムコンサート(2月・30分程度・入場無料)
・聖テモテ 20日(火) 12時 30分、オルガン 池内実和子
・神田キリスト 21日(水) 12時 20分、オルガン 平中弓弦

◆教役者レクイエム

2月14日(水) 午前10時半

主教座聖堂

説教・木下量熙司祭

▽司祭皆川晃雄▽司祭岡崎清蔵
▽主教村尾昇▽司祭栗飯原信
▽司祭遠藤義光▽司祭高松孝治
▽執事戸所芳一▽執事栗原素行
▽執事金井 登▽伝道師多治見

十郎▽伝道師深尾猪曹子▽主教小笠原重二▽司祭山口千尋

◆としえの平安

12月19日 多羅尾綾子(93)

聖三一

【教区HP】教区時報 月号テキスト版とPDF版で掲載。教区主教の一般向けメッセージ 毎月、月初めに更新、掲載。

今週・来週の予定

2月11日～24日

- 11(日) 顕現後第6主日 正義と平和協議会運営委員会
- 13(火) 銀座朝祷会
- 14(水) 教役者レクイエム 人権委員会(聖バルナバ) 山手G牧師協議会(聖マーガレット)
- 16(金) 教区企画室 信徒講座=教会の歴史 城南G牧師協議会(聖オルバン)
- 18(日) 大斎節前主日 多摩G牧師協議会(~19日・青梅) モニカ会幹事会(神学院)
- 19(月) 主教座聖堂活動委員会 幼稚園委員会 聖職養成委員会 財政委員会
- 20(火) 礼拝音楽委員会 エルサレム教区協働委員会
- 22(木) 常置委員会
- 23(金) 信仰と生活委員会
- 24(土) 幼稚園委・園長会(池袋)

(この用紙は再生紙を使っています)

人は人生の道程の中で、時として予想もしていない出来事に遭遇するものだ。昨夏、地元の病院の健康診断で肺がんの疑いがあると診断された。その時点では全く何の自覚症状もなく、健康体とばかり思っていたし、がんは死に至る病という程度に予備知識しかなかった。突然肺がんの疑いと言われて奈落の底に突き落とされたような気分になった。

《恵みに生かされて》

生かされて日々：

菊池英彰

「心をつよくし かつ勇め 汝の神 とともに在せば おそるる勿れ」

その後、がん研で精密検査を受けた結果、肺腺がんとわかって手術を受けることになった。左肺の上葉を全摘出し、集中治療室に入ってその後病室に移った。術後すぐにリハビリが始まった。ベッドに座ること、トイレまでの自立

幸い手術は成功し、二週間で退院できて再びこの世の生に返ることができた。この度の体験から、人は一人では生きられず、神に守られ、多くの人に支えられ、生かされ生きていることを改めて実感させられた。今、日々恵みに生かされていることに深く感謝している。(聖愛教会信徒)

常置委員会報告(1月26日)

* 4 執事の司祭按手式、韓国出張(28~31日)、真光教会隣地の件・月島聖公会土地購入願いの件受領等、主教報告。

* 新3司祭宛副牧師任命書発行、12月収支等の会計報告、正平協議長決定、青年活動支援部発足、新聖地旅行を考える訪問団準備状況など、各主事報告。

* 礼拝音楽委員2名推薦、幼稚園委員1名解任の承認。

* 教区フェスティバルを9月24

日開催。青年活動支援部を中心に企画・実行することを了承し、委員長を推薦。

* 受苦日礼拝の説教者・司式者を確認。

* 真光教会隣地、月島聖公会土

地に関する案件を教区会に。
*その他

信仰と生活委員会報告

(1月25日)

* 青年活動支援部報告、各教会協議会活動報告、正義と平和協議会報告、主教報告など。

* 今年度の信徒講座について確認協議。講師・竹内謙太郎司祭

|| 教会の歴史(開講中)、塚田理司祭(新規) || 9月・10月、鈴木剛子(新規) || 11月、雨宮慧

神父 || 6月2回、西原廉太司祭 || 日程調整中。

* 一泊研修会(2月9日・10日 || 主会場神田キリスト教会)

の確認、進め方など協議。

▽信徒講座(信仰と生活委員会

主催) 講師 || 竹内謙太郎司祭

「教会改革の足跡」第11世紀から第12世紀へ」 2月16日(金) 19時・教区会館・参加費500円

▽下町教会G「大斎始日・灰の水曜日礼拝」 2月21日(水) 19時・葛飾茨十字教会(説教 || 木下量熙司祭)

▽銀座朝拝会(第2・4火曜7時半、ルノール喫茶室ニユール座) ・2月13日 || 感話・小川昌之(教区事務所総主事) ・27日(第7百回) || 佐々木庸司祭(大森聖アグネス教会)

▽五本木九条の会主催講演会 || 憲法を学ぶ「紛争下で活動している人々との出会いを通して、九条を考える」 || 講師・川端国世(日本YWCA総幹事) 2月28日(水) 18時半・聖パウロ教会

【学びと働きから】31

教区企画室、一つの取組み

礼拝出席者が減り、働き手が減り、献金が減って財政が逼迫しつつある。これは多くの教会が直面している状況です。気心が知れないいつもの顔ぶれで守る礼拝には心が休まります。しかし、大人数の活気あふれる集いや礼拝のほうに、教会を初めて訪ねる人には溶け込みやすい面もあります。

それぞれの教会には歴史があり、思いがあります。しかし、教会外の人を初めて迎えるのに適した土地や建物のところばかりではありません。

ひとつの教会、あるいは二つ三つの教会が思い切って移転

し、新しい土地での宣教に取りかかるべき時がきているのかもかもしれません。決断は早いほうがよいでしょう。ある教会が痛みを覚えたつ移転や統合にふみだすとき、他の教会は、たとえば長年蓄えてきた基金やメンバーを提供して、痛みを共有しつつ応援する、そういった教区・教会のあり方が必要になってきます。

「教会は、今そこにいる人ただけのものではない。やがて来るであろう人たちのものでもある」。これは植田主教が折にふれて言われていることです。やがて教会に連なるであろう人たちのために、いま何をしたらよいか、各教会の皆さまと一緒に考えていきたいと思えます。

企画室座長 古谷野 亘

《今、この教会では…》

月島聖公会

月島のこの地に保育事業を始めて、同じ建物を使用しておりますので、教会の願いは「祈りの場」である礼拝堂を持ちたいということを語り合っています。

また、聖職候補生と最近転籍されて新しくメンバーになった方を迎えての1年、小さな群ですが、活力が与えられ、新しい教会の姿が示されつつある今、新園舎教会、老人をも迎え入れる住居、0才児よりの乳幼児保育と、人口が増えつつあるこの地で夢が広がります。地域に開かれた教会として土地を持ち、そうした活動が可能になりますようにとの願いを持って、今年も歩み始めました。(植松 頌)